学校番号	3037

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	(学)理数数学Ⅰ 総合演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	新課程ニュースタンダード数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C受験編						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では、理数数学Ⅰの内容についての問題演習を行います。理数数学Ⅰの内容を理解できていることを前提として授業を進めていきます。予習の段階でその単元の内容を復習した上で、授業に臨んでください。
・家庭学習における課題を定期的に提出してもらいます。計画的な学習習慣を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
理数数学Ⅰの内容について、基礎的な公式の理解、利用ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を多角的、複合的に捉え、数学的に考察し、表現する力を身に付ける。さらに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようになるとともに、それらを的確に活用することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
複雑な問題でも粘り強く取り組むことができ、主体的に知識・技能の習得を目指すことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、理数数学Ⅰの内容において、基礎から応用的な知識を身につけている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、理数数学Ⅰの内容において、事象を多角的、複合的に捉え、数学的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、理数数学Ⅰの内容における考え方に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを進んで活用しようとする。また、自分自身の学習についての振り返りを行い、評価・改善をしようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td>一学期</td><td>数学Ⅰ</td><td>・数と式
・2 次関数
・図形と計量
・データの分析</td><td rowspan="3">a:基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、事象を表現・処理する技能を身につけている。

b:事象の考察や表現をし、その過程を振り返ることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。

c:学習内容に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。</td><td>定期考査
小テスト
提出課題</td><td>定期考査
小テスト
提出課題</td><td>提出課題
観察</td></tr>
<tr><td rowspan="2">二学期</td><td>数学A演習</td><td>・場合の数と確率
・図形の性質</td><td>定期考査
小テスト
提出課題</td><td>定期考査
小テスト
提出課題</td><td>提出課題
観察</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理数数学Ⅰ総合演習</td><td>総合演習</td><td>定期考査
小テスト
提出課題</td><td>定期考査
小テスト
提出課題</td><td>提出課題
観察</td></tr>
<tr><td>三学期</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度